

コロナワクチン予約申し込み体験記

2021年5月 大場 記

大阪府の堺市では4月26日に75歳以上の高齢者へのコロナワクチン予約申し込みが開始され、それまでに個人宛に送られてきた「接種券在中」の案内と、堺市広報に差し込まれていた「接種のしおり」を参考にして予約申し込みを行いました。

私の場合、電話を30回掛けても話し中でつながらず、パソコンからのメール申し込みもつながった時は締め切り終了後で、予約は出来ませんでした。

今回はあきらめて次回再チャレンジします。

ある方の話では、パソコン申し込みがつながったが、会場選択が同じ接種場所の選択は出来ず、1回目は北野田、2回目は泉北と異なる会場になったとのことでした。(それでも予約出来て、うらやましいなあ。)

大阪府南部の千早赤坂村に在住されている方の話では、電話やパソコンの他に「おまかせ」という方法があり、郵便で申し込み、2回の接種日を希望せずにおまかせする方法があり、これで確実に予約出来たとのことでした。考えてみると、電子化された申し込み受付は早くて便利ですが、アナログの申込書をまとめて割り当てていくやりの方が申し込む高齢者にとっても又処理する役所にとっても便利な点があることを知りました。

この千早赤坂村は小さな地域ですので村で集団接種会場を設ける規模でないためお隣の富田林市の接種会場で打つことになるそうですが、役所では割り当てた方々の会場、時間を把握しており送迎バスのサービスもするそうです。

私が予約出来なかったこととは別の話として、今回の各市町村で行われている予約申し込み業務は外部業者に委託しているケースが多く、電話の入口制限やパソコン処理の不完全さもあるようです。滅多にない対応を行政が担当するので大目にみても、テレビで報じられているような現場での混乱や不安がなくなるようなデジタル化対応が、これらの経験を積んで上手く行なえる時が来るよう期待したいと思います。